

あしきた町議会だより



うたせ

第30号

平成24年
8月10日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL (0966) 82-2511 FAX (0966) 82-2894



- 6月定例会 P 2～3
- 一般質問 P 4～5
- 議会のうごき・編集後記 P 6

6月定例議会



湯浦慰霊塔の現地調査
(文教厚生常任委員会)

6月定例議会は、6月11日に召集され14日までの4日間の会期で開催した。上程されたのは、専決処分の承認4件、報告6件、平成24年度一般会計補正予算ほか、町有温泉特別会計補正予算1件、人事関係で教育委員会委員の任命同意1件、人権擁護委員の推薦についての諮問1件で、いずれも慎重審議の結果、原案通り可決した。また、最低保障年金制度の創設を求める陳情及び請願など12件の内、9件の陳情については起立による採決の結果不採択となり、ほかの3件については継続審査とした。一般質問には2議員が登壇し、町執行部の考えをたじた。

請願1件及び陳情2件を継続審査、陳情9件を不採択

件名	請願及び陳情者	結果
尖閣諸島をはじめとする我が国の領土領海を守る処置を速やかに求める意見書提出を求める請願	請願者 徳田健児	継続審査
湯浦慰霊塔の移設に関する陳情	湯浦戦没者遺族会 会長 菊川正範	継続審査
天文台建設を行なって頂くための陳情	芦北町文化協会 会長 平江大八 芦北星を見る会 会長 中山幹男 " 副会長 澁谷百錬	継続審査
所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める陳情ほか8件（不採択）		

補正予算を可決

平成24年度一般会計及び特別会計の補正予算を可決した。

(金額は万円単位で表示)

会計名	補正額(増額)	予算総額
一般会計	2,924万円増	98億224万円
町有温泉特別会計	53万円増	1億923万円

●補正予算の主な内容(一般会計)

- 熊本県土地利用型農業緊急支援事業補助金 492万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業設計委託料 130万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業工事請負費 1,374万円
- 小災害復旧事業費補助金 210万円
- 家庭排水路整備事業補助金 98万円



なかはらのりこ
中原紀子氏
(田川地区)

本町職員として、昭和48年7月から平成19年4月の退職まで長きにわたり奉職され、行政経験が豊富。

人権擁護委員に推薦



まつもとよしこ
松本嘉子氏
(宮崎地区)

幼稚園の役員等の経験もあり、学校運営にも積極的に参加・協力されており、教育についての識見が高い。

教育委員会委員の
任命に同意



川尻議員

◎大規模太陽光発電所 (メガソーラー) 誘致どうなる!

質 現在、国内全ての原発が止まり夏のピーク時の電力不足が懸念される中で、国民の節電意識も高まり自然エネルギーへの取組みが各地で行われている。

答 本町では、24年度～26年度の実施計画の「工業振興」の項にメガソーラー誘致事業を新規事業としてあげている。

質 その具体的事業計画を明らかにされたい。

答 町長

熊本県からの大規模太陽光発電所設置候補地等の調査を受けて、女島埋立地と矢城牧場跡地を設置候補地として手を挙げています。
現在、希望事業者から事業企画提案書を提出してもらっている。

答 商工観光課長

6月18日に選定委員会を発足して評価基準に従い選定し、7月中旬に事業者を決定したいと考えています。

質 女島埋立地は、今年度中の供用開始を目指す事業者が多い。また、矢城牧場跡地は面積が広く事業費がかさむので、供用開始は事業者によって変わってくる。

質 この事業を誘致することによる本町のメリットは何か。

答 町長

設置による地元への経済効果や新たな収入源の確保、視察等による集客・町のイメージアップなどである。

質 メガソーラーを誘致する公有地は、貸与などの契約を結ぶのか。

答 商工観光課長

売却と貸付の提案がされている。借地だと20年間を予定している。

質 売却だと後々問題もあるのでは、借地契約を極力望むが、貸与した場合20年間でどれくらいの価格になるのか。

答 町長

事業者の提案書で高い価格・低い価格があるので、今それを一概には出せない。将来安全なのかどうか選定の大 きな判断基準になる。

質 町民はもとより、特に地元住民への説明が重要と思うので、十分な説明を果たしてもらいたい。

答 町長

今後地元説明会や広報紙などにより周知を行う。

質 今後メガソーラーのみならず、住宅用太陽光発電の啓発活動はどのよう

に考えているのか。

答 町長

特に県のエネルギー政策も大きく関連するので、それらを見極めながら進めて行く。

要望

女島活力推進センターや古石緑の里を視察研修場所として、活用を特に要望するとともに、子供達の環境教育の場としてもらいたい。



メガソーラー設置予定場所(女島埋立地)



坂本議員

◎伏木氏川の渇水対策事業は どうするのか！

南九州西回り自動車道トンネル工事に伴い、伏木氏地区を流れる川の水が枯渇し、農業用水や生活用水に支障が出ている。

質

伏木氏地区の渇水対策についてどのような対策を講じてきたのか。また、現状は住民の要望に充分応えていると考えているのか。

答

町長

被害が発生した時点から緊急対策、応急対策、恒久対策まで、国交省と協議を重ね対応してきており、現在も恒久対策の協議を進めている。

質

6月6日に実施された国交省八代河川国道事務所との協議は、どのような内容であったのか。

答

建設課長

現在、国交省は、伏木氏地区からの要望について再検討

し、補償工事及び補償内容等を積み上げている状況である。



伏木氏川（伏木氏多目的研修所付近）

携帯電話受信エリアの拡大について

質

横居木、銅山、上原地区などの山間地域では、携帯電話の受信が出来ない、または、出来にくいという住民の声があり、災害防止や安全対策上からも問題があると考える。

町は携帯電話受信エリアの実態を把握しているのか。

また、全町域で携帯電話が使用できるよう携帯電話会社に申し入れをして欲しいが如何か。

答
町長

携帯電話の受信エリアについては、実態を把握しており、これまでも申し入れを行ってきている。

答

企画財政課長

平成18年に利用できない地区の区長と、携帯電話会社3社に対し要望活動を行っており、その結果、8地区のうち4地区に無線局の設置がなされている。



横居木農村公園に設置された携帯電話の無線局（中央の柱）

原発ゼロ宣言を行い、自然エネルギーの本格的活用をめざす町づくりについて

質

全国的に原発ゼロ宣言を行うところが増えてきている。

メガソーラー活用の事務処理を進めるにあたり、町として原発ゼロ宣言を行い、自然エネルギーの本格的活用をめざすべきだと思いが如何か。

答
町長

現時点で原発ゼロ宣言を行うことは考えていない。

エネルギー政策については国が責任を持って行うべき問題であると考えている。

地方自治体は、たくさんの分野・課題・政策を抱えている。

特別これに特化することなく、全分野・全政策に精一杯の務めを果していきたいというのが私の姿勢である。

議会のうごき

- 5月 9日 熊本県町村議会議長会研修会
- 〃 〃 広報特別委員会
- 17日 熊本県町村議会議長会理事会
- 22日 文教厚生常任委員会
- 28日 全国町村議会議長会理事会・都道府県会長会（東京都）
- 29日 第37回町村議会議長・副議長研修会（東京都）（～30日）
- 30日 総務常任委員会・建設経済常任委員会
- 31日 水俣芦北地域振興財団理事会
- 6月 5日 議会運営委員会
- 〃 〃 全員協議会
- 11日 議会定例会（一般質問）
- 14日 議会定例会（議案審議）
- 〃 〃 広報特別委員会
- 25日 九州各県町村議会議長会協議会（大分県）（～26日）
- 27日 熊本県町村議会議長会監査
- 7月 2日 全員協議会
- 4日 全国町村会役員との懇談会（東京都）（～5日）
- 9日 南九州西回り自動車道建設促進期成会総会（出水市）
- 13日 国土交通省九州地方整備局への要望活動（福岡市）
- 18日 全国町村議会議長会理事会・都道府県会長会（東京都）（～19日）
- 23日 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会
- 〃 〃 水俣芦北地域振興推進委員会と水俣芦北地域振興推進協議会の意見交換会
- 26日 水俣・芦北地域振興推進協議会要望活動（東京都）（～27日）
- 31日 広報特別委員会
- 〃 〃 熊本県町村議会議長会理事会

傍聴に来てください。

今回は9月初旬の予定です。
傍聴は、ルールさえ守っていただければ誰でもできます。

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
〃	〃	〃
林田 元	宮尾 川	平松 宮内
耀 秀	秀 成	洋 道
宏 志	行 美	一 則

心の拠り所となるべき教育現場に狡兎三窟があり、虐待する親の人間性が、みせかけの豊かさという魍魎魍魎の輩に支配されていると思つてい

（宮尾）

全国町村議会議長・副議長研修会に参加



5月29日から30日の2日間、東京メルパルクホールで開催され、藤井議長と寺本副議長が参加しました。

埼玉県嵐山町議会から「わが町の議会活性化への取組み」についての事例発表や山形弁研究家のダニエル・カール氏による「東日本大震災後の・頑張れニッポン」と題した講演では、被災地でのボランティア活動を通して、日本人の持つ心の豊かさや人と人のつながりの大切さについて話が聞き入っていました。

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会に参加



7月23日、熊本県市町村自治会館で開催され、各常任委員長（元山・草野・白坂）と宮尾議会運営委員長が出席しました。

熊本県町村議会議長会である藤井議長の挨拶の後、中部大学教授でテレビ等でも活躍されている武田邦彦氏による「環境問題のウソと真実」と題した講演では、福島第一原発の事故による自然環境への影響や地球温暖化の問題等について、専門的立場がら話があり、参加者も興味深く熱心に聞き入っており有意義な研修会でした。

編集後記

夏休みが始まると、子供の頃を思い出す。朝、申しわけ程度の学習を済ませ仲間と合流、一目散に浜へ向かった。春や実りの頃はわらび穫りと、ヒヨ畏を見て巡るのが日課であった。寒くなり白い物が積ると、童たちが湧くように集まり、固く堅めた雪玉での雪合戦、当たれば痛かった。遊びにケガは付き物だったが、先輩たちは皆で労わりの言葉を掛けてくれた。時代は流れ